

6月後半の活動報告



6/21: emmy fes (エミフェス) 0.7

「世代を超えた未来の共創を、社会全体のムーブメントにしていく」ことを目標としている、emmy fes (エミフェス)。シリーズ3回目となった emmy fes 0.7 は、北海道大学 FMI 国際拠点とオンラインで同時に開催され、多様なセクター、幅広い世代の専門家、実践者、学生など100名以上が参加しました。

emmy fes 0.7 のテーマは、「プレコンセプションケア (Preconception Care)。」WHO (世界保健機構) が「妊娠前の女性とカップルに医学的・行動学的・社会的な保健介入を行うこと」と定義しており、日本国内でも少しずつその重要性が認識されてきています。北大 COI-NEXT では、妊娠を計画している・いない

に関わらず、成長段階にあわせてこころとカラダの健康、家族、ウェルビーイングを考えるうえでとても大切なケアだと捉えており、日本の文化や慣習にあわせた「日本版プレコンセプションケア」教材の作成をめざしています。

欧米では広く実施されているプレコンセプションケアですが、日本国内では比較的新しい概念です。その重要性和認知度を日本国内でどう高めていけばいいのか、会場とオンライン双方で活発なディスカッションが行われました。最後のまとめでは、日本におけるプレコンセプションケアの認知向上と概念の浸透を図るため、様々なセクター・世代のステークホルダーで構成されるコンソーシアムの設立が提唱され、今後の emmy fes で議論を深めていくことが合意されました。

6/29: ママナビフェスタ 2022 札幌

家事・育児・仕事を頑張るママを応援するイベント「ママナビフェスタ 2022 札幌」が、札幌プリンスホテルにて開催されました。S-RED チームは、(株)ピジョン、YOMEYOMECLUB と共同で出展し、来場したママが日頃感じている育児に関する負担や要望について、アンケートを実施しました。

アンケートによると、子育てママは圧倒的に睡眠不足。夜間授乳にパパや家族が参加しても、睡眠不足が解消されるわけではなさそうです。家事・育児で一番負担だったことについては、「料理」と答えた方が、全体を通して多く見受けられました。

ママが中心となって家事や育児をしている「ワンオペ」の状況も、負担になっているようです。パパや家族への要望として、「一人の時間がほしい」「早く帰ってきてほしい」など、時間の確保についての回答が多く見られたことは、ママが自分自身のことをケアする時間が必要だという思いの現れなのかもしれません。中には、「むしろ、何もしないでほしい」という切実な(?)意見も! 今回のアンケートは、家族間コミュニケーションの大切さを改めて感じる結果となりました。



oVice を活用したメタバースの試み



未知数ですが、より良い働き方をめざして試行錯誤していきます。

多種多様な働き方が求められている現代。その試みの1つとして、S-REDではバーチャル空間 oVice とチャットツール Slack を併用し、より良いビジネスコミュニケーションの可能性を探っています。きっかけは、家族の事情で数日間テレワークを余儀なくされたスタッフがいたこと。孤独な作業になりがちなテレワークでも、オフィスにいるような円滑なコミュニケーションを構築したい、という思いから始まりました。まだ手探りの状態なので、その効果は

受精から誕生まで「生命誕生」映像完成

北海道大学 COI『食と健康の達人』拠点および北海道大学 COI-NEXT「こころとカラダのライフデザイン共創拠点」では、株式会社 NHK エンタープライズの制作協力のもと、NHK 番組「シリーズ人体・神秘の巨大ネットワーク第6集“生命誕生” 見えた！母と子ミクロの会話」の映像・内容をベースに、今回の映像「生命誕生」を完成させました。小さな一つの受精卵から複雑で精巧な人体に形成されるまで、お母さんのお腹の中で、互いに“メッセージ”を交わすことで急成長を遂げる胎児の様子について、最新の科学映像を交えて「いのちの始まり」「赤ちゃんの成長」「あなたの生まれた日」という3つのカテゴリーに分け紹介しています。本映像は、教材として学校、自治体、病院等で活用することを目的として制作されました。

日本で高齢出産や不妊治療が増加傾向にある背景には、個々人の身体的特性の他、妊娠可能期間、妊孕力(にんようりょく)など性と生殖に関する知識不足が考えられます。本映像と分娩人形を用いながら、生殖器や出産の仕組みを科学的な視点から学べる講座と組み合わせることで、性と生殖に関する健康にポジティブな価値観を探求及び育成し、若い世代が自分ごととして妊娠や出産を選択、または選択しない人生を送り、ライフデザインにおける選択肢を増やすことで自分らしく幸せに生きられる社会の実現をめざします。

本映像の閲覧をご希望の方は、coi-event@fmi.hokudai.ac.jp までご連絡ください。



玉腰 暁子
COI-NEXT 副プロジェクトリーダー
北海道大学大学院医学研究院 教授



科学、哲学、衛生などは明治時代に海外の言葉を訳す形で使われるようになったそうです。COI-NEXT のプロジェクトでは、自分らしく幸せに生きること、多様な生き方を可能にする若い世代からの健康づくり、次世代につなげる健康が大きなテーマで、その中に「プレコンセプションケア」も含まれます。プレコンセプションケアといっても現状ではピンときません(し、もっと大きな概念を扱おうとしています)。これから10年、皆様とともに取り組む共通目標として、テーマを表す言葉を造れないかと考えています。

創、考、活、幸、望、夢、支、健、身、心、生、協、継、己、他、互、多…

響きがよくて、字面もよくて、わかりやすく、使いたくなるような言葉、大募集です！

今後のイベント(予定)

- 8/23 第3回参画機関会議
- 8/26 げんき発見ドック in 岩見沢
- 9/1 幹事機関会議
- 9/2 げんき発見ドック in 岩見沢
- 9/26 emmy fes 0.8 in 岩見沢
- 9/30 emmy fes 0.8 in 東京
- 10/25 第4回参画機関会議
- 11/5 emmy fes 0.9 in 岩見沢